

福島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	マクロ経済学	
科目基礎情報							
科目番号	0099			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	コミュニケーション情報学科 (H31年度開講分まで)			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	Macroeconomics Global Edition, by Olivier Blanchard and David R. Johnson, Pearson						
担当教員	芥川 一則						
到達目標							
①GDPの仕組みを理解する。 ②IS-LM分析と金融理論を理解する。 ③経済成長モデルを理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 GDPの決定要因を理解する。	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2 IS-LM分析と金融理論を理解する。	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目3 経済成長モデルを理解する。	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	実際の経済問題と関連づけながら、経済学、特にマクロ経済学の基礎理論を学習する。						
授業の進め方・方法	中間試験は50分の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。 定期試験の成績を80%、課題を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	基本的な経済用語の復習に十分努めること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	A Tour of the World 導入(1)		経済学とは何か・マクロ経済学とは何か		
		2週	Tour of the Book 導入(2)		マクロ経済学の概念		
		3週	The Goods Market (Ⅰ) 財・サービス市場		国民経済計算		
		4週	The Goods Market (Ⅱ) 財・サービス市場		国民経済計算		
		5週	Financial Markets (Ⅰ) 金融市場		利子率と流動性および中央銀行の役割		
		6週	Financial Markets (Ⅱ) 金融市場		利子率と流動性および中央銀行の役割		
		7週	前半のまとめ		前半のまとめとこれまでの評価		
		8週	後半に向けて		前半の振り返りと後半の概要説明		
	2ndQ	9週	The IS-LM Model (Ⅰ) IS-LMモデル		財・サービス市場と金融市場の均衡		
		10週	The IS-LM Model (Ⅱ) IS-LMモデル		財・サービス市場と金融市場の均衡		
		11週	The IS-LM Model (Ⅲ) IS-LMモデル		財・サービス市場と金融市場の均衡		
		12週	Financial Markets II (Ⅰ) 利子率とリスク		IS-LMモデルの拡張		
		13週	Financial Markets II (Ⅱ) 利子率とリスク		IS-LMモデルの拡張		
		14週	Financial Markets II (Ⅲ) 利子率とリスク		IS-LMモデルの拡張		
		15週	前期のまとめ		期末試験の評価と前期のまとめ		
		16週					
後期	3rdQ	1週	The Labor Market (Ⅰ) 労働市場		労働市場と失業率		
		2週	The Labor Market (Ⅱ) 労働市場		労働市場と失業率		
		3週	The Phillips Curve, the National Rate of Unemployment, and Infulation (Ⅰ) フィリップ曲線と失業率およびインフレーション		フィリップ曲線と失業率およびファンフレーションの関係		
		4週	The Phillips Curve, the National Rate of Unemployment, and Infulation (Ⅱ) フィリップ曲線と失業率およびインフレーション		フィリップ曲線と失業率およびファンフレーションの関係		
		5週	From the Short to the Medium Run (Ⅰ) IS-LM-PCモデル		IS-LMモデルとフィリップ曲線の関係		
		6週	From the Short to the Medium Run (Ⅱ) IS-LM-PCモデル		IS-LMモデルとフィリップ曲線の関係		

		7週	前半のまとめ	前半のまとめとこれまでの評価
		8週	後半に向けて	期末試験の評価と前期のまとめ
	4thQ	9週	The Facts of Growth 経済成長	経済成長の概念
		10週	Saving, Capital Accumulation and Output（Ⅰ） 貯蓄と資本蓄積および生産	貯蓄と資本蓄積および生産の関係
		11週	Saving, Capital Accumulation and Output（Ⅱ） 貯蓄と資本蓄積および生産	貯蓄と資本蓄積および生産の関係
		12週	Technological Progress and Growth（Ⅰ） 技術進歩と成長	技術進歩と経済成長
		13週	Technological Progress and Growth（Ⅱ） 技術進歩と成長	技術進歩と経済成長
		14週	後期のまとめ	後期のまとめ
		15週	後期のまとめ	後末試験の評価と後期のまとめ
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	課題	合計	
総合評価割合		80	20	100	
基礎的能力		40	10	50	
専門的能力		20	5	25	
分野横断的能力		20	5	25	